

せんじょうじき
千畳敷カール

山の麓から見える氷河地形

千畳敷カールは、宝剣岳直下に広がるU字形の氷河地形のこと。駒ヶ根市の町中から見える。伊那谷は日本で唯一、盆地底から氷河地形が見える場所である。氷期には、千畳敷は一年中氷に閉ざされ、氷が谷沿いに流れていた。カールはそのときの氷河によって作られた地形である。カールの先端には、氷河によって押し出された石や土が固まってできたモレーンとよばれる大きな丘がある。



氷河によって削られた、なだらかなカール



集落から望める千畳敷カール

information

□ アクセス

菅の台バスセンターからバスで35分 + 駒ヶ岳ロープウェイで8分

□ 所在地

駒ヶ根市、宮田村



雪崩

カール壁ではしばしば雪崩が起きるが、モレーンの上部では雪崩が起きる心配がないため、標高2,612mにあるロープウェイの終着駅はモレーンの上に作られている。

お花畑

千畳敷カールには、高山植物の種類が豊富で見事なお花畑がある。植物の分布は、ほぼ標高2500mを境にして亜高山帯と高山帯に分かれる。カールを底から登山道に沿って稜線に上がっていくと、群落の変化がよくわかる。



(国土地理院の数値地図50000(地図画像)を使用)